

学校 基本情報

■ 基本情報：公立、共学、普通科（普通コース、理数コース）、SSH指定／1学年約360名
2018年度入試合格実績（現役）：国公立大学合格のべ233名。うち、難関国公立大学合格23名（東北大10名、北海道大3名、大阪大1名他）。国公立大合格率59.8%、進学率55.8%。

取り組み 背景

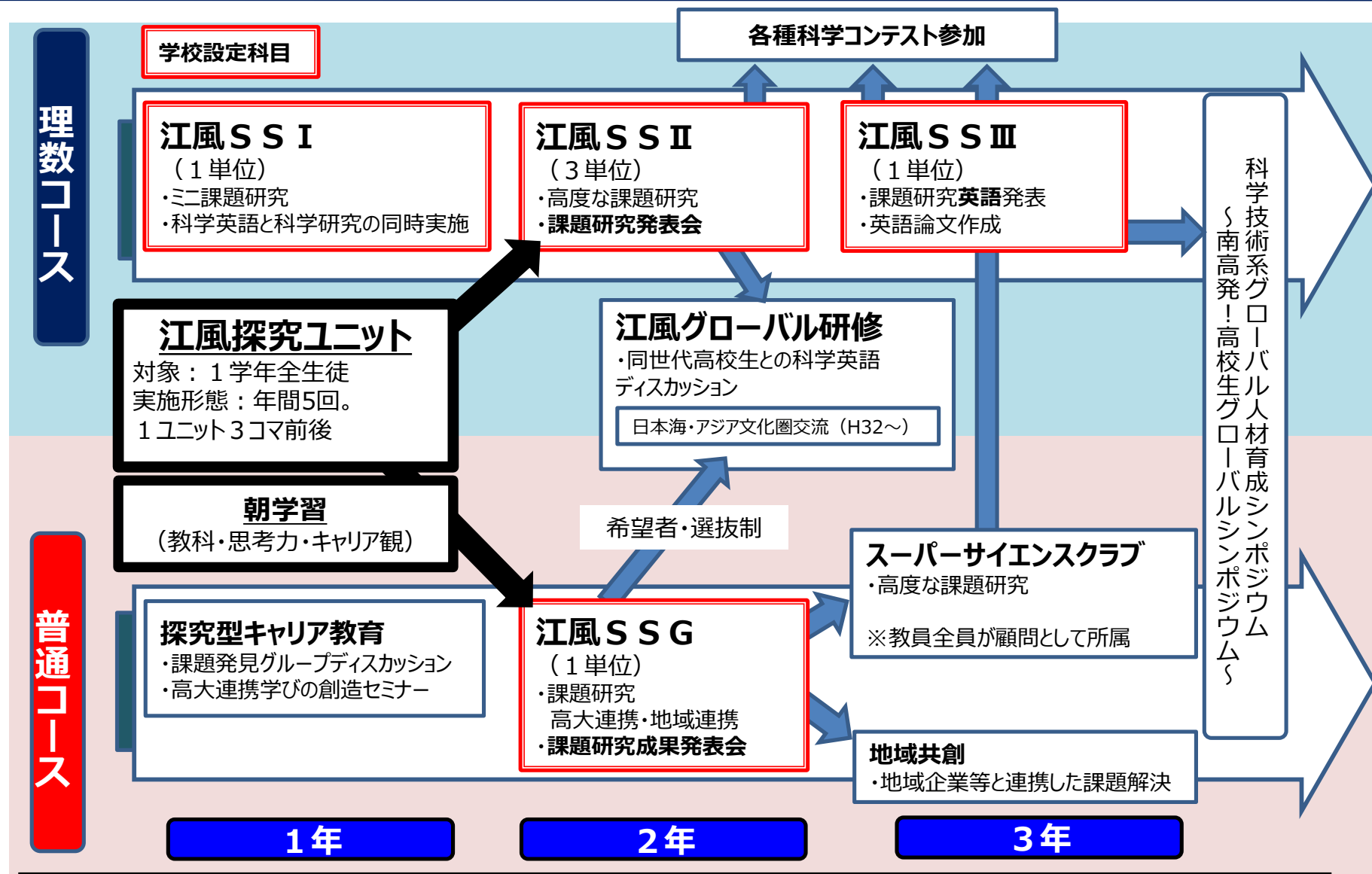
■ SSH指定校として3期15年を終え、平成30年度より第4期の指定を受けている。第3期の取り組みから更に「課題研究の充実」、「全校で取り組む探究活動」の必要性を感じ、実践を行っている。
■ 今回、1学年全体で展開している取り組みを中心に紹介。『江風探究ユニット』
■ 6月には文理選択指導が始まる。総合型選抜（AO入試）等を考えると、よりしっかりとしたキャリア観の育成が重要になる。『朝学習でのキャリア観育成』
⇒新入試、次期学習指導要領対応も見据えた取り組みを学年全体で展開。

取り組み 内容／ ポイント

■ 『江風探究ユニット』（1年次）
【ユニット1】国語総合の授業で図書館を活用して、文章読解力、資料を活用する力を育成する。
【ユニット2～5】
新潟市をテーマに地域探究を行い、探究プロセスを経験させながら、探究力を育成する。
■ 朝学習（毎日10分間）では、教科の知識・技能の充実のみならず、「思考力」、「キャリア観」を育成する時間も設けている。

成果・ 今後に 向けて

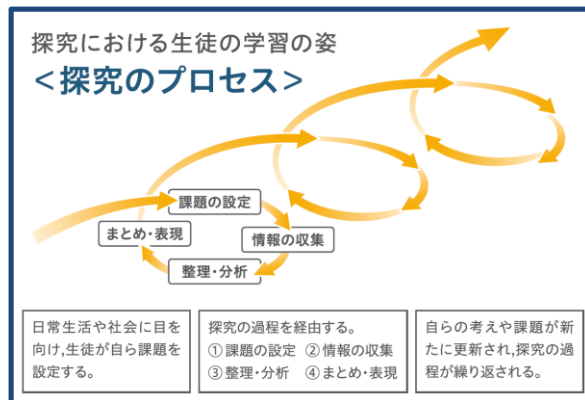
■ 『江風探究ユニット』（1年次）は2年次を中心として進める課題研究『江風SSⅡ』（理数コース）、『江風SSG』（普通コース）に先駆けて実施することから、総合的な探究力と具体的な手法を身に付けさせ、スムーズに研究を展開できる仕組みとなることを期待している。
■ 1年次に地域探究を行うことで、より一層、日本（地域）と世界の技術的な発展に貢献できる人材育成につなげることができるようになることが期待される。

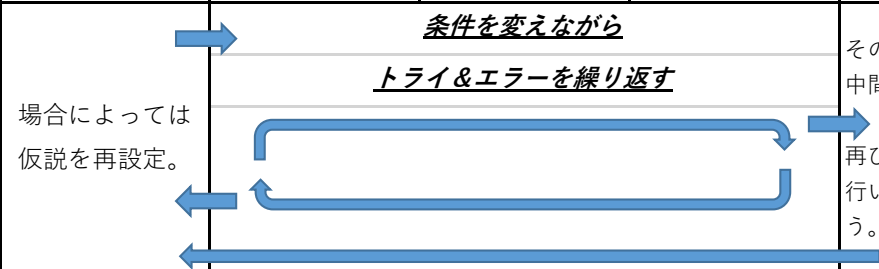


都度、職員朝礼や学年会、教科会では進捗を共有。教員全員が状況を把握できるようにしている。
月初めのSSH運営会議で進捗状況の共有・確認と修正を行っている。

『探究力』とは？

探究的な学習（探究のプロセス）を進めるにあたり
必要な、複数の能力群の総称。



探究力		課題 発見力	仮説 設定力	計画力	実証力	考察力	表現力	まとめ
（課題研究）の進め方の例	全体的流れ	興味を持った分野から、探究課題やテーマを設定する。 設定に至った経緯を示す。	課題に対して、自分なりに論理的な仮説や独自の解釈を設定する。 設定に至った根拠を示す。	研究を進める具体的な計画を行う。 どのような結果を得られれば仮説の実証につながるのかを検討する。	実験を行う、資料を収集し読み解くなどして客観的な情報を収集する。 場合によっては随時研究計画の見直しを行う。	得られた結果や収集した情報を分析する。 設定した仮説との差異や共通点が生じた理由を検討し、結論を出す。	導き出した結論を、適切な形・言語で成果物とする。 ポスター・プレゼンテーション・要旨など。	課題研究発表会 ・ 成果発表会 ・ シンポジウム 等
	検証や分析		条件を変えながら トライ＆エラーを繰り返す 				その時点での中間的な結論。 再び仮説の設定を行い、再検証を行う。	
	2年次（江風SSG・江風SSⅡ 等）・3年次（江風SSⅢ・各種発表会 等）							

『江風探究ユニット』

目 的：総合的な探究力の養成

対 象：1学年全生徒（普通コース／理数コース）

実施形態：①年間5回。1ユニット3コマ前後。全体で概ね15～20時間ほど

②LHR及び、総合的な学習の時間・関連する各教科の授業を用いて実施。

③学年主任主導で計画・実施を開始。

■ 江風探究ユニット展開と、主として身に付けさせたい能力について

		資料を 活用する能力	探究力					
			課題 発見力	仮説 設定力	計画力	実証力	考察力	表現力
ユニット① 国語総合×図書館（国語科）	4・5月	◎						
ユニット②地域探究 「生活のなかで感じる新潟市の課題・解決策」	7月		◎	◎				
ユニット③地域探究 『新潟市からの挑戦状』	10月	○		○	◎	◎	◎	
ユニット④地域探究 ・ポスターセッション ・スピーチコンテスト（英語科）10月頃	12月							◎
ユニット⑤地域探究 論文作成	2月 下旬以降		○	○	○	○	○	◎

■『江風探究ユニット』取組み内容

ユニット①

【ユニット①】 実施：4月～5月

○国語総合の授業 3 時間で実施。図書館と連携し、**文章読解力**や**資料を活用する能力**等を身に付けさせる。

○クラス単位でスピーチによる発表を行う。

ユニット②

【ユニット②】 実施：7月4日(水)・7月末(23日(月)・24日(火)のどちらかで1時間)

○7月4日(水)LHR。4名程度×10班(5テーマ×2)で実施。生活する中で感じる新潟市の課題と、その感じる根拠**(課題発見)**、および、それを解決するための方策として考えられること**(仮説設定)**を、A3で1枚程度にまとめる。資料は用いず、ヒントも与えない。発表はクラス単位で任意。

○7月末に新潟市の担当者による講演会を実施。ここで、『新潟市からの挑戦状』(分野振り分けなどはこちらで作成したもの)を生徒に向けて提示していただく。

ユニット③

【ユニット③】 実施：2学期中間考査終了後(10月初旬～中旬)

○ユニット①における『新潟市からの挑戦状』を受け、各クラス4名程度×10班で各班一つずつテーマを担当する。以下のテンプレートを当てはめたワークシートを用いて探究活動の流れに沿って展開する。

◇	(仮説設定)	：どのような方策により、どのような効果があるかを考え、提案する。
◇	(計画)	：仮説の裏付けをするためにどのような資料を収集するかを検討する。
◇	(実証)	：収集した資料から、仮説の裏付けとなるデータを抜き出し、集約する。
◇	(考察)	：データの分析から、仮説の真偽を検証し、結論づける。

○ワークシートの写しを新潟市の担当者に送付する。

ユニット④

【ユニット④】 実施：2学期末考査終了後(12月初旬～中旬。スピーチコンテストは10月頃実施)

○ユニット③で出した結論を、模造紙1枚にまとめてポスターセッションを実施する**(表現)**。学年単位。新潟市の担当者に評価者として参加してもらう。

○英語科の授業と連携し、スピーチコンテストを活用する**(表現)**。

ユニット⑤

【ユニット⑤】 実施：学年末考査終了後(2月下旬以降)。入検期間の課題も兼ねる

○ユニット④までの内容を、テンプレートに従って簡潔に論文形式でまとめる**(表現)**・**(まとめ)**。班単位の活動ではなく、各自で取り組む。

○論文の写しを新潟市の担当者に送付する。

■『江風探究ユニット』の評価等について

◎ユニットごとの評価

⇒生徒評価と教員評価の差異を分析し、評価法の研究にも活用する。

生徒のセルフアセスメント：ユニットごとに生徒対象のアンケート調査を実施
自己の内面的な変容を10段階で評価してもらい、平均値をまとめる。

教員による評価：ユニットごとに教員対象のアンケート調査を実施。
ユニット実施前後における生徒の変容を10段階で評価してもらい、平均値をまとめる。

◎ポスター・各種制作物・発表技術などの評価

生徒の自己評価・教員の評価ともに各種ループバックを用いる。

評価の平均値をとり、生徒評価と教員評価の差異を分析し、評価法の研究にも活用する。

◎英語スピーチの評価

英語科の評価基準に準ずる。評価は英語の授業で行う。

◎論文添削

学級担任が簡潔にコメントをいれて返却する。数値評価については検討中。

新潟市 からの 挑戦状

テーマ1	健康寿命延伸
テーマ2	雇用創出
テーマ3	農業・食文化の発展
テーマ4	持続可能な公共交通の構築
テーマ5	インバウンドの推進



各テーマは、関連する学問系統が、文系、理系にまたがり、様々なアプローチができる。
テーマ課題研究が、キャリア観を深めるきっかけにもなっている。

新潟県立新潟南高等学校 江風探究ユニット、1年生で総合的な探究力を身につける

【ユニット③】探究テーマ『新潟市からの挑戦状』（5テーマ）10月



探究用ワークシート

新潟南高等学校
2018年10月10日～31日

(1年 組 番 氏名) (班)

※班長は (一司会・進行を行う)

他の班員は

江風探究ユニット③（全5 時間）

探究テーマ「新潟市からの挑戦状（5テーマ）について、仮説を設定し、実証する！」

目的：江風探究ユニット②で提示された「新潟市からの挑戦状（5テーマ）」（※）について、仮説設定から結論に至るまでの一連の試行錯誤を通して、2年次の課題研究にもつながるような仮説設定力、計画力、実証力、思考力を養う。※5テーマ：1健康寿命延長、2雇用創出、3農業・食文化の発展、4持続可能な公共交通の構築、5インバウンド

1時間目（10月10日（水）7限）学年集会1時間

日 時：10月10日（水）7限LHR（できれば15分延長して40分を55分に）

場 所：第1体育館

内 容：ステップ1（詳細は下記）

2時間目・3時間目（10月17日（水）午後振替6限・7限LHR）

日 時：10月17日（水）午後振替6限および7限LHR

場 所：1～9組、および第4選択教室

1健康寿命延長は1組・2組教室、2雇用創出は4選・3組教室、3農業・食文化は4組・5組教室、

4持続可能

内 容：ス

4時間目・

日 時：10

場 所：1

1健康寿命

4持続可能な公共交通は6組・7組教室、5インバウンドは8組・9組教室に集合する。

内 容：ステップ8～ステップ10

10ステップのワークシートにそって
『探究力』『探究のプロセス』を学ぶ

	内 容	備考	日時
ステップ1	研究テーマを決定する	学年集会	10月10日
ステップ2	例を参考にして「リサーチクエスト」を設定する	班活動	10月17日
ステップ3	自分のアイデアを自由に書き出す	各自	10月17日
ステップ4	ブレインストーミングを行って、複数の「仮説」を作り出す	班活動	10月17日
ステップ5	「仮説」を1つに絞り、その根拠も示す	班活動	10月17日
ステップ6	仮説を証明するために、調査・研究の計画を立てる	班活動	10月17日
ステップ7	仮説を証明するために、調査・研究を実施し、結果を記録する	各自	18日～30日
ステップ8	ステップ7で調べた結果を、班全員で共有する	班活動	10月31日
ステップ9	調査・研究の結果を考察し、結論を導く	班活動	10月31日
ステップ10	今後の展望を考える	班活動	10月31日

担当者1	担当者2

1年 組 番 氏名

江風探究ユニット③（10月）事後アンケート【生使用】

テーマ「新潟市からの挑戦状（5テーマ）について、仮説を設定し、実証する！」

(1) あなたは課題発見力、活動の前後それぞれ10段階でどのくらいだと感じていますか？ 当てはまるところに○をつけてください。

Level	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10⑩
活動前										
活動後										

(2) あなたは仮説設定力（解決策を作り上げる力）は、活動の前後それぞれ10段階でどのくらいだと感じていますか？ 当てはまるところに○をつけてください。

Level	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10⑩
活動前										
活動後										

(3) あなたの計画力は、活動の前後それぞれ10段階でどのくらいだと感じていますか？ 当てはまるところに○をつけてください。

Level	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10⑩
活動前										
活動後										

(4) あなたの実証力（仮説を証明するための調査・研究をする力）は、活動の前後それぞれ10段階でどのくらいだと感じていますか？ 当てはまるところに○をつけてください。

Level	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10⑩
活動前										
活動後										

(5) あなたの考察力（考察から結論にいたるまでの思考力）は、活動の前後それぞれ10段階でどのくらいだと感じていますか？ 当てはまるところに○をつけてください。

Level	①	2	3	4	5	6	7	8	9	10⑩
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----

課題発見力→仮説設定力→計画力→実証力→考察力
活動の前後の自己評価で、振り返りを行う

新潟県立新潟南高等学校

江風探究ユニット、1年生で総合的な探究力を身につける

【朝学習】8:30～8:40（10分間） 通年

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
探究	英語	進路学習 (進路サポート)	数学	国語



数字表記の秘密【分析力&推理力】

組 番 氏名

図4「諸文明における数字表記」について、①どのような規則性があるか。いくつか指摘せよ。②また、なぜそのような規則性が生じるのか。考えられる原因を類推せよ。

【図4：諸文明における数字表記】

楔形文字	𐎶 𐎵 𐎴 𐎳 𐎲
ローマ数字	I II III IV V
マヤ文字	 —
漢数字	一 二 三 四 五
古代インド文字	— = 三 + Y
手書きアラビア文字	1 2 3 4 5
現代のアラビア数字	1 2 3 4 5

思考力の育成

学年の先生で分担して作成

- ①問題を配布・取り組む
- ②翌週に解答解説を配布

1年進路サポート進度表
(毎週水曜日朝10分間)

	題名(分野)	ページ
4	11 4月現在の進路意識	1～10
	2 自己理解(長所短所)	
	18 3 強みの生かし方	10～13
	25 4 自分のことを書き出してみよう	14～17
5	25 興味・関心のありか	18～20
	9 6 興味・関心と関連する学問	21
	23 7 身近な問題と学問のかかわり	24～27
	30 8 7で気になる学問と理由	28～29
6	6 9 社会と学問のかかわり	32～35
	13 10 9で気になる学問と理由	36～37
	20 11 これからの自分	38～39
	27 12 文理選択について自分の思い	40～41
7	4 13 様々な観点から文理選択の考察	44～45
	11 14 文理選択の理由の整理	46～47
	18 15 社会的課題の考察(環境)	50
	25 16 社会的課題の考察(福祉)	51
8	29 17 社会的課題の考察(情報社会)	52
	5 18 社会的課題の考察(国際社会)	53
	12 19 社会的課題の考察(科学技術)	54
	19 20 社会的課題の考察(政治経済)	55
9	26 21 社会との関係から学問・職業を考える	58～59
	3 22 先輩の体験談	60～61
	10 23 自分と社会とのかかわり方	62～63
	17 24 働くのはなんのためか	
10	24 25 きみが働くのはなんのためか	
	31 26 進路についての自分の考え	
	5 27 自分史を書いてみよう	
	12 27 自分史を書いてみよう(続き)	
11	19 27 自分史を書いてみよう(続き)	
	26 28 学問研究をしよう①	
	5 29 学問研究をしよう②	
	12 30 仕事研究をしよう①	
12	19 30 仕事研究をしよう①(続き)	
	9 31 仕事研究をしよう②	
	1 31 仕事研究をしよう②(続き)	
	23 32 大学入試について知ろう	
1	5 33 進路探究ポートフォリオB	
	27 33 進路探究ポートフォリオB(続き)	
	2 28 33 進路探究ポートフォリオB(続き)	
	3 29 33 進路探究ポートフォリオB(続き)	

進路観の育成

『進路サポート』を利用

7月文理選択予備調査⇒10月決定